

令和2年度第2回 大津市三師会協議会次第 (敬称略)

日時:令和2年11月19日(木)午後4時30分から

場所:Web会議(Microsoft Teams)

赤文字をクリックしてください。資料等へジャンプします。

1. 開 会

大津市医師会事務局 PC の Microsoft Teams から

司会 (公社)大津市医師会 副会長 藤 井 靖 子

2. 主催者挨拶

(公社)大津市医師会 会長 重 永 博

3. 出席者紹介 **(出席者リスト参照)**

4. 協議事項

① 自殺者対策について(市医師会)

毎年減り続けていた自殺者が、今年8月から3カ月連続で増加に転じている。特に女性と子どもの自殺者が増加していることから、これに対する対策を行う必要があると思うがどのような対策を考えているか。

② 小中学校の教職員の健康管理について(市医師会)

教職員50人以上の大規模校には、産業医が配置され、産業保健活動の支援を受けられているが、50人未満の小中学校では、教職員が就業判定や休職復職面談など産業保健活動の支援を受けられているのか、そのような仕組みがあるのか教えていただきたい。

③ PCR 検査について(市歯科医師会)

歯科医師の依頼で PCR 検査を受けられるところはありますか。大阪ではこのような制度があるそうです。紹介なので保険対応できるそうです。

5. 報告事項

① 学校環境衛生検査 教室の換気および保温検査(夏期)について(市薬剤師会) **資料**

7. そ の 他

8. 閉 会

令和2年度第2回 大津市三師会協議会(令和2年11月19日)出席リスト(敬称略)

【大津市歯科医師会】

	役職名	氏名	メールアドレス	備考
1	会長	木村 誠	torakitisakura17@yahoo.co.jp	
2	副会長	小上 敬嗣	UIK11634@nifty.com	
3	副会長	奈村 和記	namura.dc406@gmail.com	
4	専務理事	北川 薫	kakiino@yahoo.co.jp	
5	常務理事(保険部)	八木 正樹	yagichan@chime.ocn.ne.jp	
6	理事(公衆衛生部)	吉田 智一	eriyoshida1124@iris.eonet.ne.jp	

【大津市薬剤師会】

	役職名	氏名	メールアドレス	備考
1	会長	隠岐 英之	hide.ok17@gmail.com	
2	理事(学術部長)	杉江 陽子	lu_mie_re_verre0920@yahoo.co.jp	
3	〃(在宅介護医療部長)	丹波 卯子	usagipharmhamaootu@crux.ocn.ne.jp	
4	〃(学校薬剤師部長)	坂之上 佐和子	eiyaku18@oasis.ocn.ne.jp	
5	〃(職能対策部長)	奥山 顕義	okuya@kzf.biglobe.ne.jp	
6	〃(学術・職能対策部担当理事)	芝原 隆之	shibaluck@ares.eonet.ne.jp	

【大津市】

	役職名	氏名	メールアドレス	備考
1	健康保険部長	南堀 弘	otsu1440@city.otsu.lg.jp (共通)	
2	教育委員会教育部長	平尾 伸之		
3	健康保険部次長	小野 昌幸		
4	保健所長	中村 由紀子		
5	保健所次長	須佐 美雅幸		
6	保健総務課長	古川 久文		
7	保健予防課長	岡嶋 一郎		
8	学校教育課長	人見 和宏		

【大津市医師会】

	役職名	氏名	メールアドレス	備考
1	会長	重永 博	h.shigenaga612@k7.dion.ne.jp	
2	副会長 兼 総務部長	藤井 靖子	ica05583@nifty.com	
3	副会長 兼 経理部長	坂口 昇	azsn.71510-sky@docomo.ne.jp	
4	副会長 兼 保険部長	大森 聖一	lsc@alpha.ocn.ne.jp	
5	顧問	木村 隆	t_kimura@zai-kkc.or.jp / drtk@nike.eonet.ne.jp	
6	大津市医師会立看護専修学校校長	山田 哲博	tyamada-lj@infoseek.jp / ehosp_1@icloud.com	
7	学術部長	西山 順博	yor925airiku@zj9.so-net.ne.jp	
8	公衆衛生部長	尾辻 りさ	isibasin@crocus.ocn.ne.jp	
9	学校保健部長	近藤 恭子	k-clinic@vmail.plala.or.jp	
10	広報部長	高岡 篤	ef58113@ares.eonet.ne.jp	
11	産業保健部長	吉田 隆行	yoshikuri@cyber.ocn.ne.jp	
12	高齢者保健部長	浜本 徹	tetham06.23@docomo.ne.jp / tetham06.23@gmail.com	
13	在宅療養推進部長	上川 龍彦	quaque8hora@au.com / quaque8hora@gmail.com	
14	参与	荒堀 光信	arabori@kou-sei-kai.or.jp	
15	事務局長	田中 正彦	tanaka@otsu.shiga.med.or.jp	

学校環境衛生検査—教室の換気および保温検査(夏期)

(一社)大津市薬剤師会

新型コロナウイルス感染防止対策として、学校園では教室の換気を十分に行っている状況ではあるが、学校環境衛生基準に適合しない例も見受けられた。そこで適切な換気条件を確認するため、モデル校を選んで温度湿度、CO₂濃度、気流について測定した。

検査項目(使用機器)

1. 温度湿度:ペンタイプ温湿度計(SATO PC5110)
2. CO₂濃度:検知管式ガス測定器(AP-20)
3. 気 流:微風速計(柴田化学 ISA-90)

検査条件

教室の外部に面する窓は前後 2 か所を転落防止ストッパーの位置まで開け(<15cm)、対角線となる教室出入り口側 2 か所を20cm開ける。上部の欄間は常に数 cm 開放している場合はその状況で、そうでない場合は閉じた状況で測定する。廊下側の外部に面する窓は閉じる。エアコン 2 台および扇風機 2 台は稼働したままで測定する。

結果

添付資料参照

いずれの場合でも温度・湿度、CO₂濃度、気流すべて基準に適合した。中学生の場合、CO₂濃度が授業開始20分で上限値となったため、さらに欄間前後2か所を20cm開けて再度測定したところ、CO₂濃度は基準内であった。

考察

感染防止対策として窓戸を全開放している学校園が見受けられる。7月に行った定期空気検査では天候、気温により全開放では温度あるいは湿度が基準を満たさない結果が得られた。そこで、全開放ではなく、エアコン使用時に適切な換気ができる窓戸開放条件を求めするために今回の検査にて、基本は教室の対角線を約20cm程度開けると環境衛生基準を満たすことが確認できた。冬期においても適切な教室の環境を保てるような保温・換気条件を求めたい。

令和2年度 教室等の換気および保温検査報告書

校名	検査		教室名	天候	風の強さ	在室人員		外部温度 °C	授業中の換気		廊下の換気	休憩時間窓戸開放	冷暖房器具		測定値					窓戸解放後の廊下	授業中の廊下	CO濃度 ppm	気流 (20分) m/秒	備考、指導・助言
	年月日	開始時間				大人	児童		有	方法			使用	種類	測定時	CO ₂	温度	湿度 %	判定					
小学校A	R2.9.2	13:30 14:15	6年1組	曇り	強	3	31	33.5	有	ハ	閉	有	有	エアコン2台 扇風機2台	授業開始時点	700	26.0	-	適	500	500	—	0.12~ 0.44	ハ：外部に面した窓は前後2か所のみ13.5cm開け（転落防止のためこれ以上開かない）、廊下側前後の出入り口を20cm、上部欄間を4cm程度開けた
															20分後	700	25.4	63.7	適					
															授業終了5分前	800	25.6	-	適					
中学校B	R2.9.17	8:50 9:40	3-7	曇り	無	4	33	29.2	有	ハ	閉	有	有	エアコン2台 扇風機2台	授業開始時点	1000	25.6	57.2	適	1000	500	—	0.09~ 0.39	ハ：外部に面した窓は前後2か所のみ15-20cm開け（転落防止のためこれ以上開かない）、廊下側前後の出入り口を20cm開けた
															20分後	1500	25.1	53.3	適					
															授業終了5分前	1500	25.3	51.9	適					
中学校B	R2.9.17	9:50 10:40	3-7	曇り	無	4	33	27.9	有	ハ	閉	有	有	エアコン2台 扇風機2台	授業開始時点	1000	26.1	56.6	適	900	500	—	<0.05 ~0.31	ハ：外部に面した窓は前後2か所のみ15-20cm開け（転落防止のためこれ以上開かない）、廊下側前後の出入り口および上部欄間2か所を各々20cm開けた
															20分後	1000	25.8	54.9	適					
															授業終了5分前	1100	25.9	53.3	適					

授業時間中の換気方法 イ：教室四隅の欄間窓を開ける。 ロ：廊下側のみ欄間窓を開ける。 ハ：四隅の窓を開ける。 ニ：その他。

《基準》 1 温度：17°C以上、28°C以下であることが望ましい。 2 相対湿度：30%以上、80%以下であることが望ましい。 3 二酸化炭素：換気基準として、室内は1500ppm以下であることが望ましい。

4 一酸化炭素：10ppm(0.001%)以下であること。 5 気流：0.5m/秒以下であることが望ましい。